

## 「最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出額24ヶ月連続対前年同月比減少～」

日本機械輸出組合 2020.12.16

・2020年10月の機械輸出額は4兆2,073億円、対前年同月比0.3%減と、24ヶ月連続で対前年同月比減少し、リーマンショック以降で対前年同月を下回った最長期間を更新している。為替・営業日要因が4.0%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は4.1%減となった。12月16日発表の貿易統計速報による簡易計算では、2020年12月の機械輸出は2.9%減であった。

・今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響はリーマンショック時と比べると機械輸出金額の減少率は、少なくなっており、回復までの時間も短くなっている。これは、米国・中国向けの自動車輸出金額の回復の影響が大きい。

### I 要約

#### 1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆5,658億円(対前年同月比 [以下同じ] 0.2%減、23ヶ月連続対前年同月比減少、リーマンショック以降で対前年同月を下回った期間が最長)
- ② 全商品輸入額:5兆6,941億円(13.3%減、18ヶ月連続対前年同月比減少)
- ③ 貿易収支:8,717億円の黒字

#### 2. 機械貿易動向

##### (1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆2,073億円(0.3%減、24ヶ月連続対前年同月比減少、リーマンショック以降で対前年同月を下回った期間が最長)  
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:4.1%減
- ② 機械輸入額:2兆99億円(8.1%減、13ヶ月連続対前年同月比減少)

##### (2) 為替・営業日動向

2020年10月に4.0%の増加要因、11月に6.6%の減少要因、12月に1.9%の減少要因。  
(12月の為替要因は12月15日の東京市場のレートにより、仮計算)

##### (3) 地域別動向

- ① 北米、中国、韓国・台湾の3地域向けで対前年同月比増加(図表4、5)
- ② 北米向け:6.5%増、2ヶ月連続対前年同月比増加(図表4、5)
- ③ EU27向け:7.8%減、13ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5)
- ④ 中国向け:6.9%増、4ヶ月連続で対前年同月比増加(図表4、5)
- ⑤ 韓国・台湾向け:5.8%増、2ヶ月連続対前年同月比増加(図表4、5、6、7)
- ⑥ ASEAN・南アジア向け:5.6%減、22ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑦ その他地域向け:11.7%減、9ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5、10)

##### (4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中自動車等10業種が対前年同月比増加。

##### (5) 機種別動向(図表12、13)

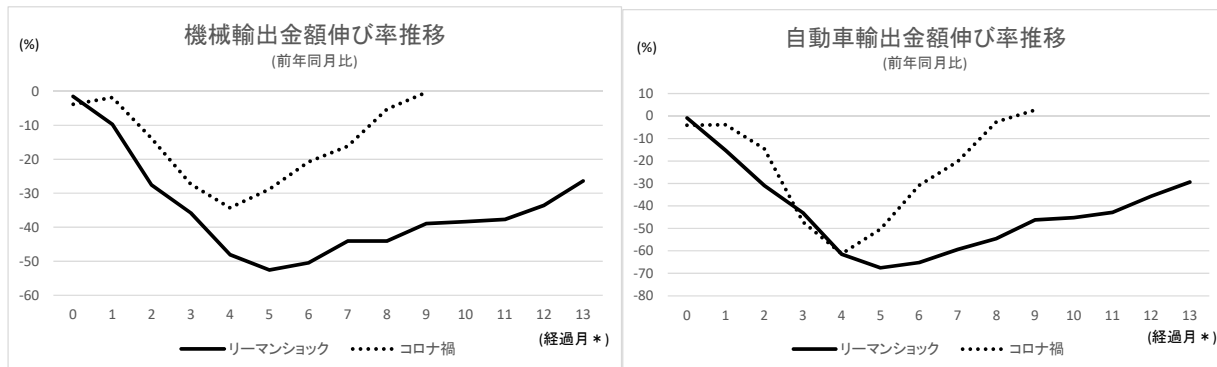
- ① 鉄道車両(ASEAN・南アジア、その他地域向け中心、4ヶ月連続上位)、原動力機械(ASEAN・南アジア、北米、中国向け中心)、電気・電子計測器(中国、北米、韓国・台湾向け中心)、電池(北米、中国向け中心)、デジカメ・ビデオ(北米、中国、EU向け中心)等が大きく増加
- ② 電動機(北米、中国向け中心、3ヶ月連続上位)等も好調に輸出が継続
- ③ 航空機部品、金属加工機械、船舶等が対前年同月比で大きく減少

##### (6) 機械輸入動向(図表14)

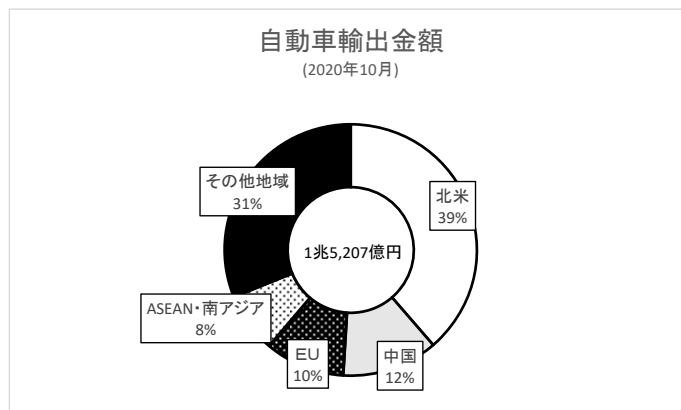
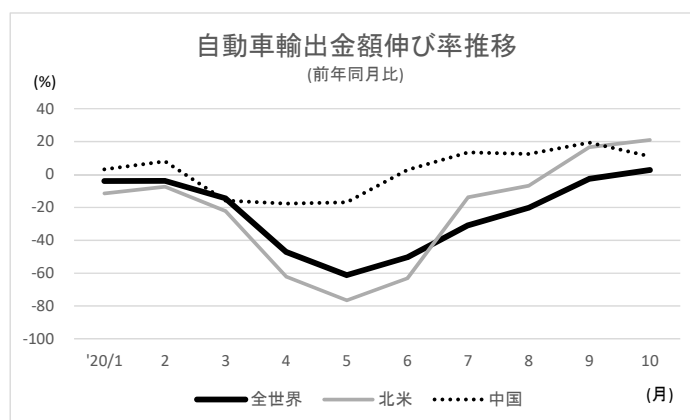
機械輸入額上位12機種のうち、電子計算機、受信変換その他送受信機器、白物家電等6機種が対前年同月比で増加

## II トピックス

\* 今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響を、リーマンショック時のそれと前年同月比の機械輸出金額の伸び率の推移で比較してみると、今回の方が減少率も少なく、回復までの時間も短くなっている。これは、機械輸出の64%を占める自動車輸出、その中でも構成比率の高い米国や中国向けの自動車輸出の影響が大きい。



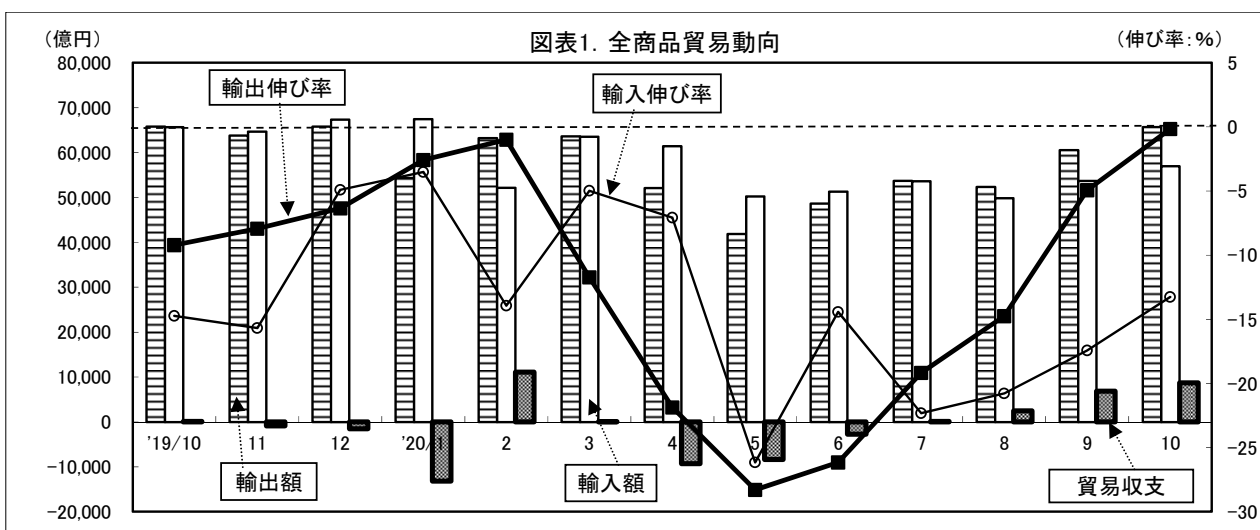
\* リーマンショック時は2008年9月、新型コロナウイルス感染症は2020年1月を起点として経過月を計算



### Ⅲ 個別動向

#### 1. 全商品貿易動向～輸出は23ヶ月連続、輸入は18ヶ月連続で対前年同月比減少～

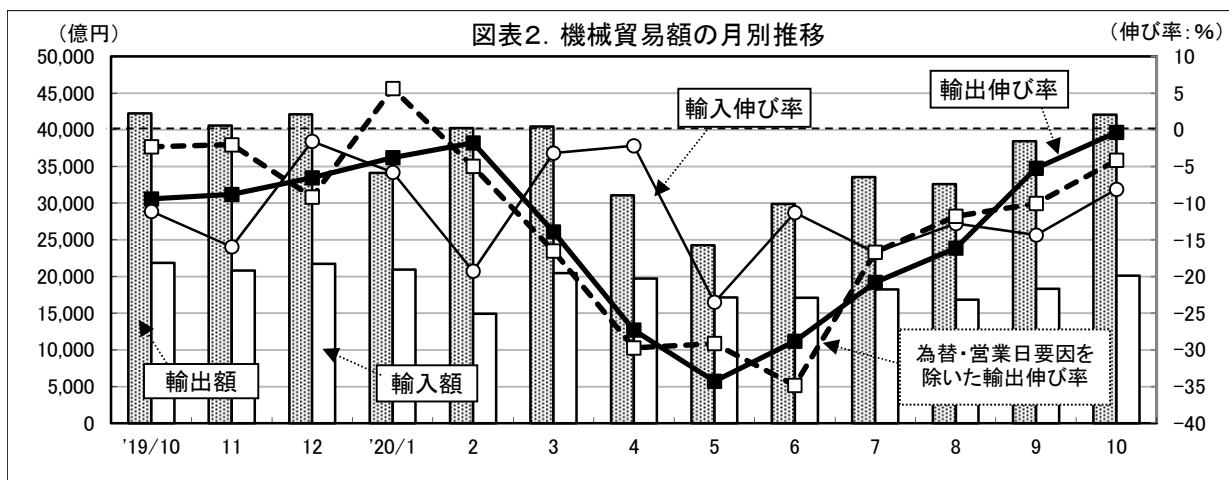
- 2020年10月の全商品輸出額は**6兆5,658億円**、前年同月比(以下同じ)**0.2%減**と23ヶ月連続で対前年同月比減少した(9月4.9%減)。これは、約19%を占める電気機器(4.6%増)や約12%を占めるプラスチック等化学製品(8.2%増)が増加したものの、約24%を占める自動車等輸送用機器(1.9%減)をはじめ、約18%の一般機械(2.8%減)、約10%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(3.7%減)等が減少したためである。
- 輸入額は**5兆6,941億円**、**13.3%減**と18ヶ月連続で対前年同月比減少した(9月17.4%減)。これは、全輸入額の約19%を占める電気機器(3.5%減)をはじめ、約14%の原粗油等鉱物性燃料(38.5%減)、約11%の医薬品等化学製品(3.4%減)や約10%の一般機械(3.9%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、4ヶ月連続で黒字(8,717億円、9月は6,878億円の黒字)となった。



#### 2. 機械貿易動向

##### (1) 機械輸出入動向～輸出は24ヶ月連続、輸入は13ヶ月連続で対前年同月比減少～

- 全商品輸出額の約64%を占める10月の機械輸出額は**4兆2,073億円**、**0.3%減**と24ヶ月連続で対前年同月比減少した(9月5.2%減)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**4.1%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約35%を占める機械輸入額は、**2兆99億円**、**8.1%減**と13ヶ月連続で対前年同月比減少した(9月14.4%減)。

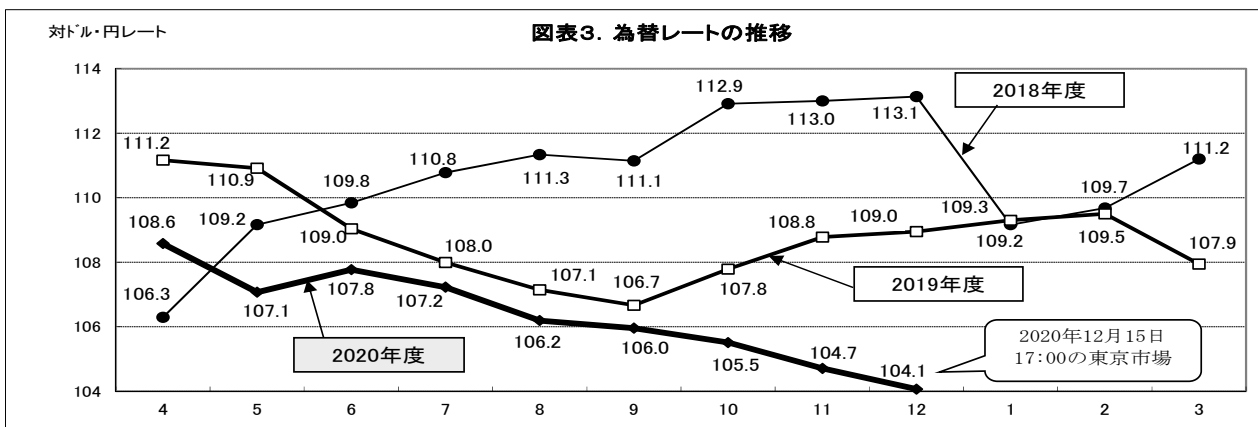


## (2) 為替・営業日動向～10月は4.0%の増加要因、11月は6.6%の減少要因～

1) 2020年10月は1ドル=105.5円となり、前年に比べ2.1%の円高となった。また、対ユーロは123.7円と前年に対して4.3%の円安となり、合わせて約0.8%の為替減少要因となった。営業日は前年に対して1日多いため、約4.8%の増加要因となり、合わせて約4.0%の増加要因となる。10月の輸出額は0.3%減であったことから、実質的伸び率は4.1%減と9ヶ月連続で前年同月比減少となった(9月10.0%減)。

2) 2020年11月は1ドル=104.7円で前年比3.7%の円高、対ユーロは123.3円で前年比2.3%の円安となり、合わせて約1.7%の為替減少要因となった。営業日は前年に対して1日少ないため、約5.0%の減少要因となり、合計で約6.6%の減少要因となる。

3) 2020年12月は、対ドルが12月15日17:00時点の104.1円とすれば、前年比4.5%の円高、また、対ユーロは126.3円で4.9%の円安となり、合わせて約1.9%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約1.9%の減少要因となる。



## (3) 地域別動向～北米、中国、韓国・台湾の3地域向けで前年同月比増加～

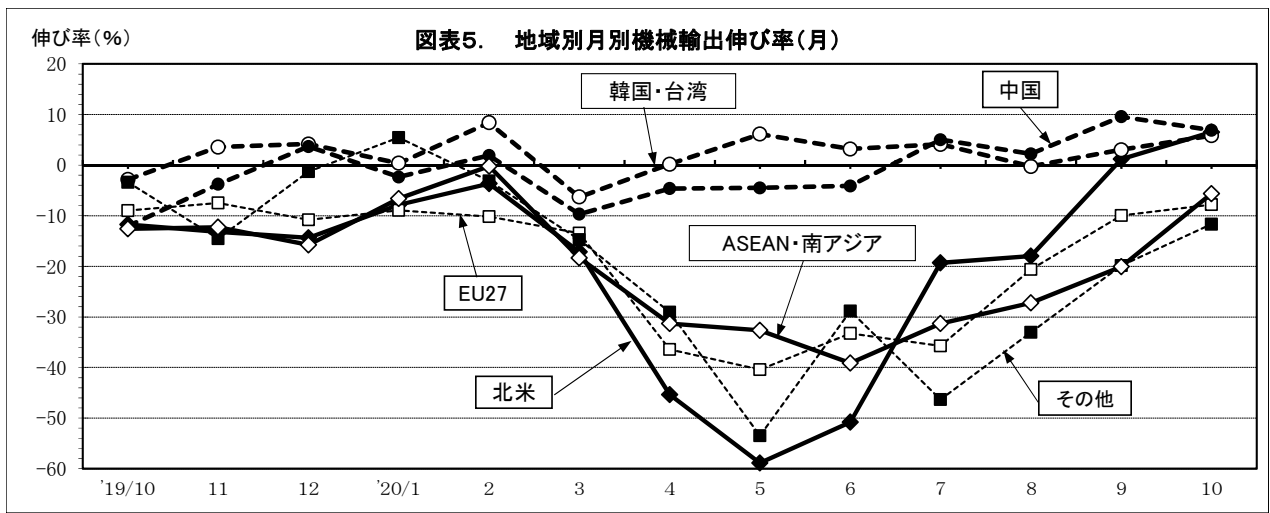
機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.9%を占める北米向けでは、産業機械(4.4%減)、航空機部品(40.5%減)等が減少したものの、54%を占める自動車(21.0%増)、電池等軽電気機械(23.0%増)等が増加し、6.5%増となった。②9.8%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、産業機械(2.4%増)、白物家電・電池等軽電気機械(12.5%増)等が増加したものの、38%を占める自動車(12.5%減)、理化学用機器等軽機械(4.2%減)等が減少して7.8%の減少となり、③24.0%を占める中国向けでは、13%を占める電子デバイス(19.9%減)等が減少したものの、24%を占める産業機械(18.0%増)、19%を占める自動車(11.0%増)、10%の配電機器等軽電気機械(19.8%増)等が増加して6.9%増となった。④10.0%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(2.9%減)が減少したものの、電子デバイス(14.6%増)、自動車(4.9%増)、電気・電子計測器等軽電気機械(20.9%増)等が増加して5.8%増となり、⑤13.8%のASEAN・南アジア向けは、タイ(10.0%増)が増加したものの、インドネシア(51.7%減)、フィリピン(17.7%減)、インド(18.6%減)等が二桁の減少となり、業種でも電子デバイス(8.1%増)が増加したものの、産業機械(2.8%減)、自動車(20.4%減)等が減少して5.6%減となった。⑥15.1%のその他地域向けでは、大洋州(52.4%増)向け等が増加したものの、中南米(28.3%減)、中近東(30.4%減)向けが大きく減少し、業種でも62%を占める自動車(6.4%減)、船舶(38.0%減)、産業機械(19.4%減)等が大きく減少して11.7%の減少となった。⑦10月も、9月に引き続き、北米、中国、韓国・台湾向けが前年同月比で増加したことに加え、EU、ASEAN・南アジア、その他地域向けにおいて前年同月比の減少率が縮小しており、日本からの輸出環境が改善していると言える。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/8			2020/9			2020/10		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	32,581	▲ 16.1	100.0	38,453	▲ 5.2	100.0	42,073	▲ 0.3	100.0
北米	7,781	▲ 18.0	23.9	9,749	1.2	25.4	10,899	6.5	25.9
EU (英国を除くEU27)	3,281	▲ 20.6	10.1	3,953	▲ 10.0	10.3	4,122	▲ 7.8	9.8
英国	423	▲ 37.0	1.3	523	▲ 18.2	1.4	573	▲ 21.0	1.4
中国	8,968	2.2	27.5	9,513	9.6	24.7	10,087	6.9	24.0
韓国・台湾	3,753	▲ 0.2	11.5	4,134	3.0	10.8	4,209	5.8	10.0
ASEAN・南アジア	4,251	▲ 27.2	13.0	5,103	▲ 20.0	13.3	5,814	▲ 5.6	13.8
その他	4,123	▲ 33.1	12.7	5,478	▲ 19.9	14.2	6,369	▲ 11.7	15.1

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

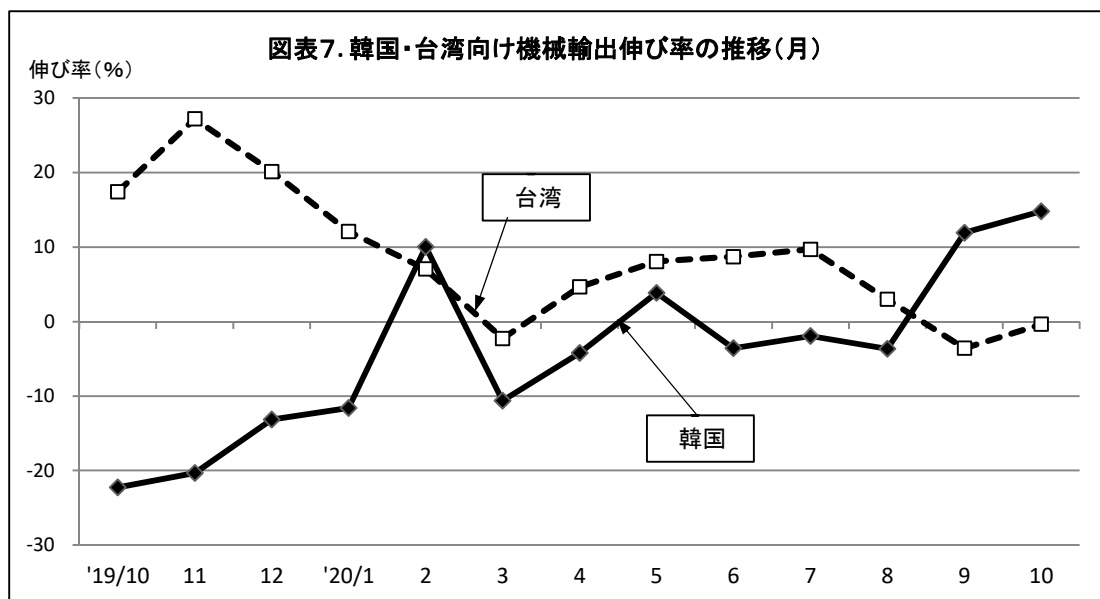


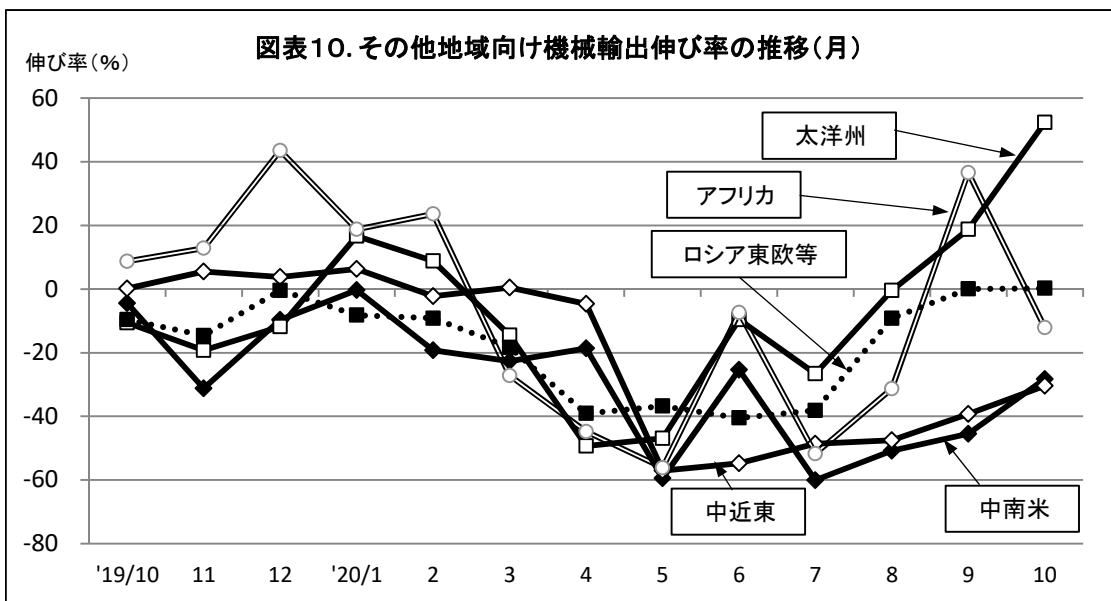
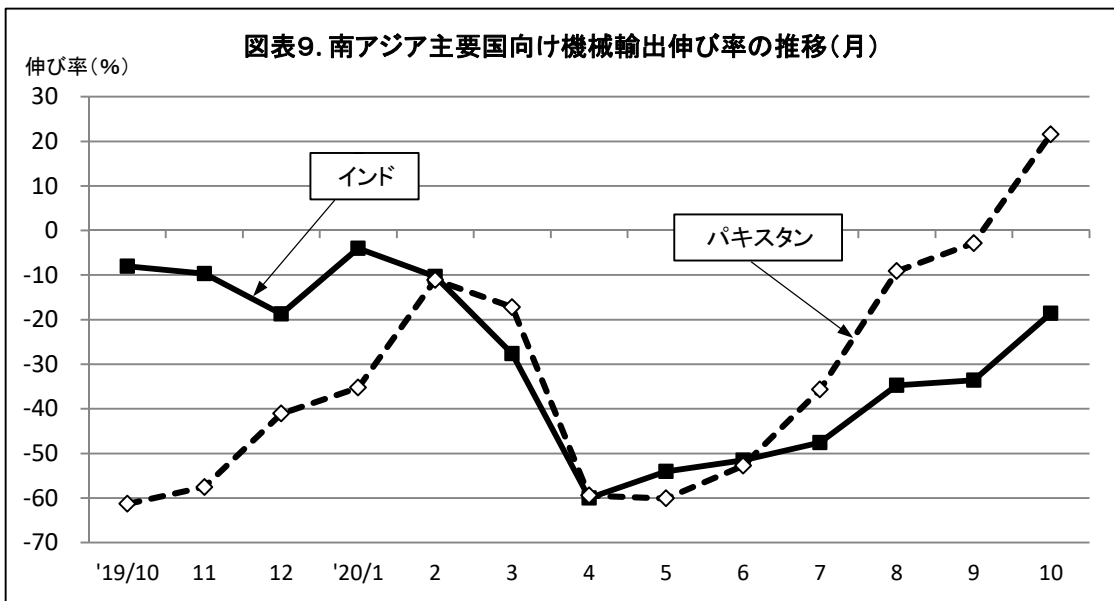
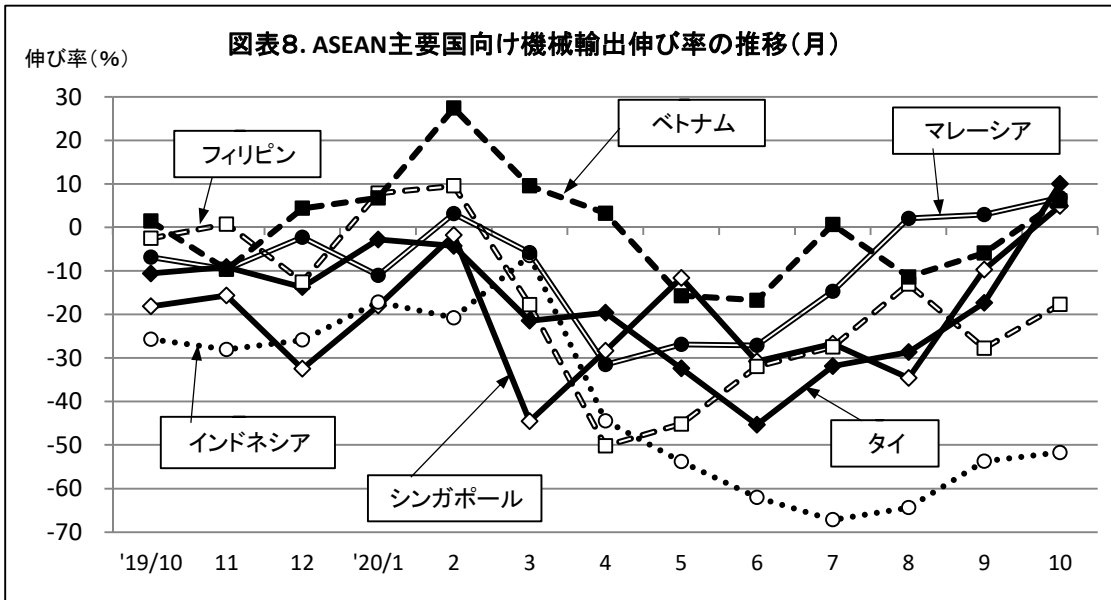
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(単位: 億円、%)

国名	2020/7		2020/8		2020/9		2020/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,801	▲ 1.9	1,748	▲ 3.7	1,917	11.9	1,869	14.8
台湾	2,183	9.7	2,006	3.0	2,218	▲ 3.6	2,339	▲ 0.4
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,062	▲ 31.9	1,159	▲ 28.6	1,350	▲ 17.3	1,744	10.0
シンガポール	613	▲ 26.7	534	▲ 34.6	781	▲ 9.7	918	4.9
インドネシア	276	▲ 67.2	267	▲ 64.4	403	▲ 53.7	374	▲ 51.7
マレーシア	551	▲ 14.7	597	2.0	650	3.0	709	6.9
フィリピン	462	▲ 27.5	477	▲ 13.0	510	▲ 27.7	541	▲ 17.7
ベトナム	784	0.7	738	▲ 11.4	843	▲ 5.9	942	6.1
インド	288	▲ 47.6	306	▲ 34.8	356	▲ 33.6	379	▲ 18.6
パキスタン	45	▲ 35.7	50	▲ 9.1	71	▲ 2.9	71	21.6
<b>その他地域</b>								
中南米	981	▲ 60.1	1,038	▲ 50.8	1,265	▲ 45.5	1,761	▲ 28.3
中近東	836	▲ 48.6	769	▲ 47.5	1,108	▲ 39.3	1,322	▲ 30.4
大洋州	956	▲ 26.6	1,065	▲ 0.4	1,299	18.8	1,659	52.4
ロシア東欧等	751	▲ 38.1	917	▲ 9.2	1,176	0.0	1,162	0.2
アフリカ	307	▲ 51.7	414	▲ 31.4	714	36.6	588	▲ 12.1

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中10業種が前年同月比で増加、そのうち3業種が二桁の増加～

1)業種別では、自動車(2.7%増)をはじめ、10業種が前年同月比で増加し(9月は7業種が増加)、そのうち軽電気機械(14.0%増)、民生用電子機械(11.2%増)、鉄道車両(37.3%増)の3業種が二桁の増加であった。機械全体では0.3%の減少となった。

2)前年同月比で減少した11業種のうち、二桁の減少となったのは、船舶(29.1%減)はじめ、建設機械(16.0%減)、工作機械(18.1%減)等7業種となり(9月は10業種)、一桁以下の減少にとどまったのは、電子デバイス(2.7%減)、軽機械(0.7%減)はじめ4業種であった。

図表11 上位21業種の輸出額の動き (単位:億円、%)

2020/8				2020/9				2020/10			
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア
自動車	10,137	▲ 20.2	31.1	自動車	13,872	▲ 2.6	36.1	自動車	15,207	2.7	36.1
産業機械	6,441	▲ 8.7	19.8	産業機械	6,763	▲ 0.8	17.6	産業機械	7,371	1.9	17.5
電子デバイス	3,539	▲ 0.5	10.9	電子デバイス	3,741	3.3	9.7	電子デバイス	3,728	▲ 2.7	8.9
軽電気機械	2,234	▲ 4.4	6.9	軽電気機械	2,499	2.3	6.5	軽電気機械	2,837	14.0	6.7
重電気機械	1,859	▲ 6.4	5.7	重電気機械	2,073	1.1	5.4	重電気機械	2,227	6.1	5.3
軽機械	1,302	▲ 18.0	4.0	軽機械	1,476	▲ 10.0	3.8	軽機械	1,663	▲ 0.7	4.0
民生用電子機械	1,272	▲ 7.1	3.9	民生用電子機械	1,463	1.7	3.8	民生用電子機械	1,560	11.2	3.7
光学機械	970	▲ 20.1	3.0	光学機械	1,047	▲ 6.2	2.7	船舶	1,290	▲ 29.1	3.1
船舶	741	▲ 51.2	2.3	船舶	891	▲ 43.7	2.3	光学機械	1,138	▲ 2.1	2.7
建設機械	643	▲ 37.9	2.0	建設機械	845	▲ 19.2	2.2	建設機械	953	▲ 16.0	2.3
工作機械	476	▲ 27.1	1.5	工作機械	510	▲ 23.8	1.3	医療機械	528	5.9	1.3
医療機械	449	▲ 6.1	1.4	医療機械	485	0.1	1.3	工作機械	490	▲ 18.1	1.2
航空機部品	435	▲ 37.1	1.3	航空機部品	443	▲ 42.9	1.2	航空機部品	453	▲ 43.6	1.1
通信機械	387	▲ 15.1	1.2	通信機械	404	▲ 10.9	1.1	通信機械	430	▲ 6.4	1.0
電子計算機	358	▲ 4.5	1.1	電子計算機	366	▲ 8.3	1.0	電子計算機	403	4.6	1.0
陸用内燃機関	273	▲ 27.5	0.8	陸用内燃機関	338	▲ 10.5	0.9	陸用内燃機関	389	7.0	0.9
ベアリング	240	▲ 33.8	0.7	ベアリング	300	▲ 20.1	0.8	ベアリング	341	▲ 13.6	0.8
農業機械	167	▲ 11.9	0.5	農業機械	212	10.3	0.6	農業機械	207	4.8	0.5
繊維機械	120	▲ 39.2	0.4	繊維機械	158	▲ 14.6	0.4	繊維機械	155	▲ 17.5	0.4
鉄道車両	72	▲ 18.0	0.2	産業車両	78	▲ 25.3	0.2	産業車両	100	▲ 12.2	0.2
産業車両	67	▲ 30.6	0.2	鉄道車両	59	55.3	0.2	鉄道車両	63	37.3	0.2
21業種合計	32,184		98.8	21業種合計	38,025		98.9	21業種合計	41,534		98.7

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン  
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器  
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品  
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～鉄道車両、原動力機械等が大幅増加、航空機部品等が大幅減少～

1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①ASEAN・南アジア(主としてタイ)、その他地域(主としてカタール)向け**鉄道車両**(37.3%増)、②ASEAN・南アジア(主としてタイ)、北米、中国向け**原動力機械**(24.9%増)、③中国、北米、韓国・台湾向け**電気・電子計測器**(24.0%増)、④北米、中国向け**電池**(22.2%増)、⑤北米、中国、EU向け**デジカメ・ビデオ**(21.2%増)、⑥北米、中国向け**電動機**(14.6%増)、⑦中国向け**コンデンサー等部分品**(14.2%増)、⑧北米、EU向け**白物家電**(13.8%増)、⑨中国、ASEAN・南アジア、韓国・台湾向け**通信機械部分品**(13.6%増)、⑩中国、ASEAN・南アジア向け**その他の重電気機器・部分品**(13.3%増)であった。

2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、航空機部品(43.6%減)、金属加工機械(29.3%減)、船舶(29.1%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2020/8			2020/9			2020/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	83	32.8	鉄道車両	59	55.3	鉄道車両	63	37.3
鉄道車両	72	18.0	電気・電子計測器	457	18.2	原動力機械	373	24.9
電動機	177	11.2	半導体製造装置	2,229	16.3	電気・電子計測器	517	24.0
半導体製造装置	2,111	10.1	電動機	214	15.0	電池	665	22.2
機種合計	2,443	* 7.5%	農業機械	212	10.3	デジカメ・ビデオ	318	21.2
			機種合計	3,171	* 8.2%	電動機	237	14.6
						コンデンサー等部分品	1,000	14.2
						白物家電	322	13.8
						通信機械部分品	158	13.6
						その他の重電気機器・部分品	492	13.3
						機種合計	4,145	* 9.9%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合  
 通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2020/8			2020/9			2020/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	741	▲ 51.2	携帯電話	14	▲ 45.0	航空機部品	453	▲ 43.6
繊維機械	120	▲ 39.2	船舶	891	▲ 43.7	金属加工機械	202	▲ 29.3
建設機械	643	▲ 37.9	航空機部品	443	▲ 42.9	船舶	1,290	▲ 29.1
貨物自動車	378	▲ 37.7	時計	62	▲ 30.6	受信変換その他送受信機器	87	▲ 23.1
航空機部品	435	▲ 37.1	金属加工機械	180	▲ 26.8	工作機械	490	▲ 18.1
時計	54	▲ 35.4	発電機	75	▲ 25.8	繊維機械	155	▲ 17.5
ペーリング	240	▲ 33.8	産業車両	78	▲ 25.3	時計	72	▲ 16.6
産業車両	67	▲ 30.6	写真機の部分品・附属品	83	▲ 23.9	建設機械	953	▲ 16.0
デジカメ・ビデオ	173	▲ 28.1	工作機械	510	▲ 23.8	発電機	58	▲ 14.1
印刷・製本機械	570	▲ 27.8	ペーリング	300	▲ 20.1	磁気カード・ディスク等	98	▲ 13.7
機種合計	3,421	* 10.5%	機種合計	2,636	* 6.9%	機種合計	3,858	* 9.2%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち電子計算機をはじめ6機種が前年同月比で増加～

- 1) 10月の機械輸入伸び率は8.1%減と13ヶ月連続で減少した。上位12機種のうち電子計算機(7.1%増)、受信変換その他送受信機器(17.3%増)、白物家電(8.1%増)等6機種が前年同月に比べて増加し(9月は4機種が前年同月比で増加)、そのうち受信変換その他送受信機器、コンデンサー等部分品(14.8%増)、半導体製造装置(35.9%増)の3機種が二桁の増加であった。減少したのは、電子デバイス(3.0%減)、携帯電話(14.2%減)等6機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、受信変換その他送受信機器、白物家電、医療機械、配電機器、航空機・部品等、TV、時計、通信機械部分品の10機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、金額順に全体の42%を占める中国(0.7%減)、ASEAN・南アジア(3.5%増)、韓国・台湾(11.1%減)、北米(23.1%減)、EU27(23.2%減)、その他地域(8.0%減)であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2020/8				2020/9				2020/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	2,113	13.2	12.6	電子デバイス	2,115	▲ 14.1	11.6	電子デバイス	2,219	▲ 3.0	11.0
電子デバイス	1,765	▲ 11.0	10.5	電子計算機	2,110	8.0	11.5	電子計算機	2,094	7.1	10.4
携帯電話	942	33.8	5.6	乗用車	1,096	▲ 7.6	6.0	携帯電話	1,866	▲ 14.2	9.3
乗用車	891	▲ 39.1	5.3	自動車部品	841	▲ 24.3	4.6	乗用車	940	▲ 9.4	4.7
航空機・部品等	698	▲ 45.5	4.1	受信変換その他送受信	772	9.2	4.2	自動車部品	940	▲ 14.9	4.7
受信変換その他送受信	694	22.8	4.1	携帯電話	697	▲ 63.5	3.8	受信変換その他送受信	803	17.3	4.0
自動車部品	667	▲ 32.7	4.0	白物家電	685	8.4	3.7	白物家電	724	8.1	3.6
白物家電	647	2.1	3.8	医療機械	663	▲ 10.9	3.6	医療機械	663	▲ 10.8	3.3
医療機械	601	▲ 21.3	3.6	航空機・部品等	650	▲ 41.0	3.6	配電機器	610	2.5	3.0
配電機器	506	▲ 8.5	3.0	配電機器	560	▲ 4.9	3.1	航空機・部品等	570	▲ 63.6	2.8
コンデンサー等部分品	354	▲ 12.4	2.1	コンデンサー等部分品	386	▲ 7.3	2.1	コンデンサー等部分品	473	14.8	2.4
その他の配電制御装置	314	▲ 13.8	1.9	TV	342	23.9	1.9	半導体製造装置	449	35.9	2.2
12機種合計	10,192		60.6	12機種合計	10,917		59.6	12機種合計	12,351		61.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等